

2024年度(総合型選抜)AO選抜入学試験
食マネジメント学部「プレゼンテーション方式」
(課題論文型・基礎数学型)

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
プレゼンテーション方式/ 課題論文型	46	33	19
プレゼンテーション方式/ 基礎数学型	54	23	10
計	100	56	29

(2) 本入学試験の目的

食マネジメント学部の学びへの理解度、食科学を学ぶ意欲と問題意識が極めて高く、かつ理解力・思考力・自己表現力・問題解決力・行動力に優れ、食マネジメント学部での学びと実践を積極的に中心となって牽引する役割を担う者を受け入れることを目的とする。

2. 試験内容

(1) 第1次選考

- ・エントリーシート(課題論文型・基礎数学型共通)

「食マネジメント学部を志望した動機をこれまでの経験を踏まえて入力してください。」および「食マネジメント学部で学んだことをどのように社会で生かして活躍したいか、いま考えていることを具体的に入力してください。」

- ・課題論文

① 課題論文型

「『食 90 億人が食べていくために(サイエンス・パレット)』(John Krebs著、丸善出版、ISBN-13: 978-4621089415)」を読んで以下の2項目についてまとめてください。

「本書の内容を紹介する文章を入力してください(600字以内)。」、「本書から興味を持った2つの章を選び、各章を要約したうえで、自分の考えを述べてください(各章700字以内)。」

② 基礎数学型

「『食 90 億人が食べていくために(サイエンス・パレット)』(John Krebs著、丸善出版、ISBN-13: 978-4621089415)」を読んで、本書から興味を持った1つの章を選び、要約した上で、自分の考えを述べてください(600字以内)。

※基礎数学型にて出願の場合は、2023年度立命館大学UNITE Program(学部指定単元AI学習プログラム)にて、食マネジメント学部の修得設定試験に合格し、学習を修了する必要があります。

(2) 第2次選考

- ・プレゼンテーション試験

志願者本人が用意した資料(ポスターやパワーポイントなど)に基づき10分程度でプレゼンテーションを行う試験で、以下の2つのタイプからいずれかを選択できるようにした。

タイプA: 食マネジメント学部で、学びたいことと活動していきたいことをプレゼンテーションする。

タイプB：食べ物または食材を1つ選んで、それについてテーマを設定し、プレゼンテーションする。

・面接試験

出願書類（「エントリーシート」・「課題論文」）に基づいて個人面接を行った。

3. 出題の意図

(1) 第1次選考

エントリーシートでは、本学部での学びへの意欲、食に関する問題意識のあり方、率先自律して努力する姿勢、基礎的学習能力を把握することを意図した。課題論文では、主として本学部の教育内容に対する理解、食に関わる幅広い知的好奇心と問題意識、論理的な思考力に加え、それに基づく問題解決力と自己表現力を図ることを意図した。また何れの課題においても、字句の用法の適切さ等から、基礎的学習能力を把握することを意図した。

(2) 第2次選考

プレゼンテーション試験では、2つのタイプの試験を実施した。この試験では、まず本学部の教育内容に対する受験者の基礎的理解の有無を確認し、論理性、将来性、説得力、コミュニケーション能力を確認することを意図した。さらに、タイプAでは行動力、タイプBでは創造性を把握することを意図した。面接試験では、エントリーシートと課題論文に関する質問への応答から、学習意欲、問題意識、積極性を把握することを意図した。

4. 評価のポイント

(1) 第1次選考

エントリーシートでは、大学入学後の本学部における学びに対する意欲や、食に関する諸問題への関心等を評価した。課題論文では、内容の論理性・説得性・独創性及び語句・漢字が正しく使用されているか等を評価するとともに、自身の問題関心と関わらせながら説明できていることや、本学部での学びに結びつけて説明できているかについても確認をした。

(2) 第2次選考

プレゼンテーション試験では、テーマに基づいた内容でプレゼンテーション資料の作成や、口頭発表ができているかを確認し、プレゼンテーションが明確かつ論理的にできているか、的確に質疑応答ができているかなどを評価した。

5. 解答状況

(1) 第1次選考

エントリーシートは、本学部を志望する理由を、これまでの自身の経験や体験、将来の夢や目標を踏まえて回答する内容が多く見られた。自らの具体的な経験等を食マネジメント学部への入学意欲につなげて記述できているものが高く評価される傾向にあった。また、課題論文については、本の要約と受験生の考えの間に論理的な整合性を見出すことができるものが高く評価された。

(2) 第2次選考

プレゼンテーション試験では、タイプA・タイプBの選択性となっている。タイプBは、本学部独自の入試スタイルとなっている。両タイプで食に関わる明確な問題意識と、それに対する的確な解決手段や探求方法を示したプレゼンテーションが高く評価される傾向にあった。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

すべてのAO受験形式で第1次選考、第2次選考ともに非常に重要です。

第1次選考については、エントリーシートでは、本学部の特性や学びのあり方をしっかり理解した上で、自分が4年間で学びたいことや探求したいことをアピールしてください。自身の経験や体験を紹介することは大切ですが、それがいかに大学での学びや探求していく課題と結びつく

のかを記述してください。自身の言葉で、自身のことを最大限にアピールしてください。

また、課題論文については、課題図書を読みしっかり理解した上で、ポイントを掴んで整理しましょう。さらにエントリーシートに記載した自身の経験や体験を結びつけて説明してもよいでしょう。課題図書から読み取ったことと、そこから自分自身が感じたり、考えたり、解決したいと思ったことについての記述を区別をつけてわかりやすく書いてください。

第2次選考については、AO選抜入試の意図をよく理解した上で、試験の準備をしてください。第2次選考の面接・プレゼンテーションでは、本学部で生き活きと学び、将来に活かしていける学生を見出すそうとしていますので、皆さん自身のやりたいこと、学びたいこと、自身の食に対する考え方等を自分の言葉でわかりやすく示してください。

以上